

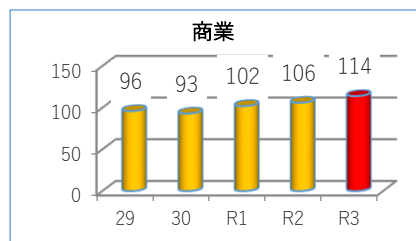
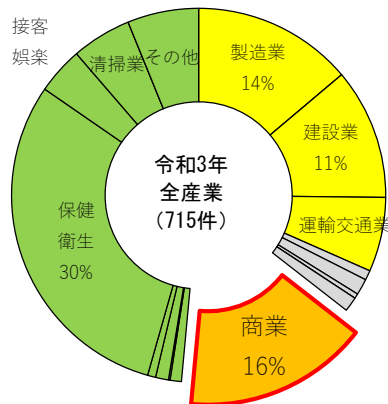
商業・店舗のみなさまへ

商業の労働災害（休業4日以上）

令和3年に長崎労働基準監督署管内で発生した労働災害は715件で、うち商業の労働災害は114件と全体の16%を占め、保健衛生業に次いで労働災害の発生が多い業種です。

商業の労働災害の特徴は「転倒」災害が31%と最も多く、次に腰痛などの「動作の反動・無理な動作」が19%、扉や台車などでの「挟まれ」が10%となっています。

年代では60歳以上の災害が33%と最も多く、高い年代で災害が多く発生しています。また、商業で発生した転倒災害（35件）の7割が50歳以上で、転倒災害の6割以上で休業が1か月以上となっています。

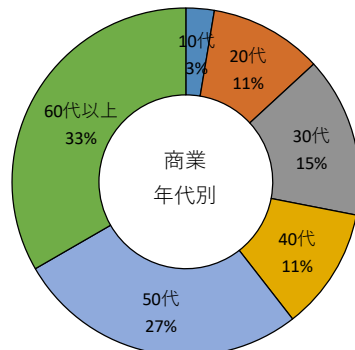
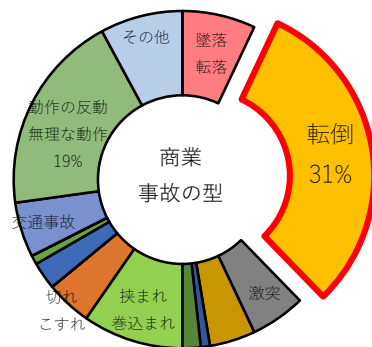


「転倒災害」の防止

転倒災害の防止では、売り場だけでなくバックヤードや従業員用の通路についても整理・整頓により通路を確保し、床の凹凸や段差の解消、滑り止め対策、階段の両側への手すりの設置、照明の確保に取り組みをお願いします。

また、会社敷地内での通勤行為中の転倒災害（業務災害となります）も散見されます。

災害発生状況は、出入口や屋外通路の段差、駐車場のタイヤ止めでのつまずき、排水溝への転落などが多く、原因として、歩きスマホや日没時間後（特に冬季）の照明の無い場所で発生しており、歩きスマホの禁止、屋外の従業員通路等への照明の設置についてもお願いしています。



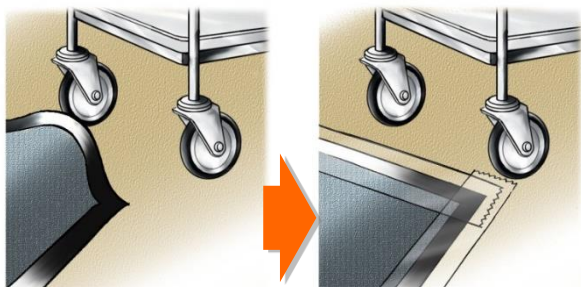
床に置かれた空段ボール箱に注意しましょう。



床に置かれた空段ボール箱は、意外に滑りやすく転倒災害の原因になりがちです。

商品の陳列作業は、空段ボール箱を整理しながら行いましょう。また使用後の空段ボール箱は放置せず、定められた場所に集積しましょう。

つまずきに注意しましょう。



マットのめくれ、床の配線コードはつまずき易く、転倒災害の原因になりがちです。

マットの周囲の養生、床配線の養生など、つまずき防止の対策を行いましょう。

荷物の運搬についてのルールを定めましょう。

荷を積んだカゴ車、台車、ラック等は、はずみで動きやすく、車輪に足を挟むことがあります。また、荷を高く積み過ぎると不安定になり、崩落・転倒につながり易いほか、視界がさえぎられるため他者との接触なども起こり易くなります。

荷物の積載高さの制限を定めましょう。



空のラック等は、転倒・棚板の落下等が考えられますので、置き場所・集積の仕方等を定めましょう。

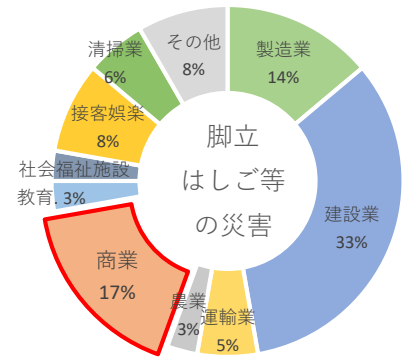


はしご・脚立からの墜落・転落災害

脚立・はしご・踏み台からの「墜落・転落」災害が増加しています。身近な用具のため、それほど危険を感じずに使用していませんか。安全な使用方法を理解してもらい安全に使用させましょう。

脚立の災害事例

- ① 天板に乗っての作業
- ② 脚立から身を乗り出しての作業
- ③ 使用中に脚立が開く（固定金具の未使用・金具の破損）
- ④ 滑動・不安定な設置
（段差部に設置した。脚部が破損したものを使用。脚部のキャップが外れて脚の長さが異なりガタつく）
- ⑤ 降りる際に踏み外す（前向きに降りて踏み外す）



椅子・コンテナからの転落災害

- ・回転するイスには絶対に乗らない。
- ・コンテナ、商品ケースは軽くて滑りやすいので、踏み台として使用させない。



使う必要があるときに使えるよう脚立や踏み台を配置して下さい。

脚立を使う前に

脚立を使う時は、次のチェックリストを使って、作業現場の点検をしてください。あなたやあなたと一緒に働く仲間を守るため、すべてにチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう！

作業前！①のチェック！！

(作業前点検リスト)
年 月 日 天気(晴・曇・雨・雪)
現場名 確認担当者名

- 脚立は安定した場所に設置している
- 閉止止めに確実ロックをかけた
- なし、ビンの緩み、脱落、踏みさんの明らかな備みはない
- ヘルメットを着用し、あごひもをしめている
- 靴は脱げにくく、滑りにくいものを履いている
- 身体を天板や踏みさんに当て、身体を安定させる
- 天板上や天板をまたいで作業をしない
- 作業は2段目以下の踏みさんを使用する(3段目以下よりよい)
- 作業は頭の真上でしない
- 荷物を持って昇降しない

「労働安全衛生規則」で定められている事項

脚立(安物脚立2枚巻)

1. 足なな滑り
2. 材料は重し・傾度、改良がない
3. 踏みさん固定の強度を力減弱防止し、取付たての劣化は、角を磨き削ぎに持つための劣化を認める
4. 踏み板の外側をなすりを行うための必要措置を有する

高さ2m以上の作業時は、墜落防止用具の着用も必要です！
「はしごや脚立からの墜落・転落災害をなくしましょう！」
(リーフレット)を確認してください。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

階段・通路での転落災害

階段等からの転落災害は事務所や、業種別では商業、社会福祉施設、病院、接客娯楽業、金融業を中心とした第三次産業で多く発生しています。

以下の一般的な対策例を参考に転落災害の防止に取り組んで下さい。

- 階段に手すりを設置する
⇒ 片側にしか手すりがないときは、下りる人が使用する。「上り」「下り」を表示し、手すりの利用を促す。
- 両手で荷物を持って階段を下りない
⇒ 片手は手すりを持てるように開ける
- ながらスマホ、よそ見、話しながら階段を下りない
⇒ 注意喚起の表示(ステッカーを貼る)
- 滑り防止対策
⇒ 滑り止めテープ等の使用
- 踏み外し防止対策
⇒ 階段の縁が目立つよう着色する「見える化」
- 照明の設置
⇒ 階段の上・下にスイッチを設ける。人感センサーを設置する。
- 履物の改善
⇒ かかとを覆う履物を履く(スリッパ禁止)。かかとの高い靴は履かない。



滑り



つまづき

お笑いも職場も
スベリやムチャは
アカン!!



今世紀最大の注意喚起が
今、始まる——

スベロチャダメよ!
転倒予防

ムチャレチャダメよ!
腰痛予防

踏み外し



腰痛

転倒予防の対策については
こちらをチェック ▶▶▶▶▶▶



腰痛予防の対策については
こちらをチェック ▶▶▶▶▶▶





小さなことからコツコツと… 職場での転倒・腰痛予防に努めましょう!



滑り^{!!!}の予防ポイント

水や油で濡れた床、サイズが合っていないか、かたたり靴底がすり減っていたりする靴などは、転倒の原因になります。

- 床の清掃をこまめに行い、水や油などは取り除くようにしましょう。
- 滑りやすい場所には、**注意を促す標識**をつけましょう。
- 転倒予防には**靴選びも大切**です。足のサイズにきちんと合わせて、靴底が滑りにくいものを選びましょう。また、靴底が大きくなり減ってきたら、すぐ買い換えましょう。



つまみずき^{!!!}の予防ポイント

歩きスマホや荷物の放置などは、つまみずいて転倒する危険性があります。

- スマホなどを見ながら歩かず、**足元が見える状態**で歩きましょう。
- 床の段差は、スロープで解消する、トラテープで段差をわかりやすくする、**注意喚起の標識を掲示**するなどの対策を行いましょう。
- 荷物は、通路、出入口などに放置せず、日ごろから**整理・整頓**を行いましょう。



踏み外し^{!!!}の予防ポイント

照明が暗い、大きな荷物を抱えているなど、足元の見えづらい状態は階段の踏み外しにつながります。

- 階段付近は十分な明るさを確保し、**足元が見える状態で昇り降り**しましょう。
- 階段には物を放置せず**、日ごろから整理・整頓を行いましょう。



腰痛^{!!!}の予防ポイント

重い荷物の持ち上げなど、腰に大きな負担のかかる作業は非常に危険です。また、滑り、つまみずき、踏み外しでバランスを崩すと、腰痛につながる可能性があります。

- 台車などの道具を使用**するようにしましょう。道具を使用するのが難しい場合は、ひとりで持ち上げず、誰かに手伝ってもらおうよう声をかけましょう。
- 荷物を床面から持ち上げる際は、荷物に近づいて、しゃがんだ状態で抱え、ひざを伸ばして立ち上がるなど、**適切な作業姿勢・動作を意識**しましょう。
- 無理のない範囲での**ストレッチ**も効果的です。

スベリやムチャはアカン! 吉本芸人の特別動画公開中!



職場での転倒や腰痛は、ちょっとした工夫で予防ができます。吉本興業の人気芸人が楽しく、わかりやすく伝えるスペシャル動画を公開中。相方が怪我をしたら、あのネタはどうなる…? 気になる方は動画をチェック!

動画はこちらから▼

